

スポーツ庁委託事業「スポーツキャリアサポート戦略」

**令和元年度「スポーツキャリアサポート戦略」における
『アスリートに対する支援者等からの資金拠出』事業**

報告書

2020年3月19日

キックオフイベント

**「Athlete Career Challenge」
Kick Off カンファレンス**

～スポーツのチカラで未来を変える、
Beyond2020アスリートキャリア形成支援構想～

1 / 開催概要

実施目的

- 「スポーツキャリアサポート戦略」のコンセプトと来季のスポーツ庁委託事業内容を説明。
また、個人、企業に関わらず、社会に対してアスリートの人間的価値についてメッセージ性の高い情報発信を行い、アスリートへのキャリアサポートにより、アスリートが競技外でも社会に大きな影響・価値をもたらしていることを示し、雇用・投資の有用性を訴える。
- イベント来場メディアへの周知・理解を促し、幅広く露出を図る。

実施概要

- イベント名 : スポーツ庁委託事業：スポーツキャリアサポート戦略
「Athlete Career Challenge」Kick Off カンファレンス
～スポーツのチカラで未来を変える、Beyond2020アスリートキャリア形成支援構想～
- 委託者 : スポーツ庁
- 委託先・企画 : ADKマーケティング・ソリューションズ
運営（主体）
- 協力 : スポーツキャリアサポートコンソーシアム
- 開催日程 : 2020年3月4日（水）
- 開催時間 : 受付開始時間 12:00～ 本番時間 13:00～15:30
※プレス受付開始 12:15～
- 会場 : JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 14F「岸 清一メモリアルルーム」
（住所）東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
- 対象・人数 : **【当日出席者】**
報道関係者：11名、事前申込関係者：23名、計34名
想定人数
報道関係者（30名）、関係者・経済界関係者・民間企業等（80名）
一般（80名）、バッファ（20名） / 合計 210名
※定員：一般 80名（事前申込・先着順）※チラシに記載
（お申込み・お問い合わせ）Athlete Career Challenge Kick Offカンファレンス事務局
⇒2/26規模縮小で開催の旨発表
報道関係者（10～20名）、関係者（経済界関係者・民間企業等含む）（40名）、計50～60名
※一般の来場は不可
→後日、スポーツ庁のSNSや、スポーツ庁WEB広報マガジンDEPORTAREにおいて当日の内容を動画にて配信することを検討。詳細については、改めてスポーツ庁ホームページ・SNS等で報告。

構成

進行構成

実施時間 13:00～15:30

TIME	LAP	プログラム	内容
12:00 12:50	60	受付開始 ※プレスフリーフィング	プレス、招待者、関係者 ※12:50～ プレス向け撮影フリーフィング
13:00 (13:00)	3 (2)	開会	司会
13:03 (13:02)	3 (4)	開会挨拶	鈴木大地 スポーツ庁長官
13:06 (13:06)	7 (6)	イベント趣旨説明	川合 現 スポーツ庁参事官
13:13 (13:12)	7 (13)	ネクストアスリートファンド概要説明	今泉 柔剛 日本スポーツ振興センター（JSC）理事
13:20 (13:25)	10 (4)	フォトセッション	長官をはじめ、登壇者全員によるフォトセッション ※フォトセッション用パネルあり
13:30 (13:29)	30 (25)	基調講演1 「ビジネスマインドアスリートが 今後の日本を変える」	<アスリートの立場> 鈴木 啓太 氏 AuB(株)代表取締役・元サッカー日本代表
14:00 (13:54)	30 (35)	基調講演2 「ビジネスマインドアスリートが 今後の日本を変える」	<有識者の立場> 田中研之輔 氏 法政大学キャリアデザイン学部 教授
14:30 (14:29)	60 (64)	トークセッション 「今後求められるアスリート像と キャリア支援プログラムの方向性」	<登壇者> (ゲスト) ・田中研之輔 氏 /法政大学キャリアデザイン学部 教授 ・鈴木 啓太 氏 /AuB(株)代表取締役・元サッカー日本代表 ・岩政 大樹 氏 /元サッカー日本代表 ・原田 裕花 氏 /バスケットボール解説者・元バスケットボール女子 日本代表 ・森下 尚紀 氏 /(株)MPandC代表取締役社長 青山学院大学産学連携コーディネーター (MC) ・真鍋 杏奈さん /フリーアナウンサー
15:30 (15:33)	1	閉会	司会よりご案内
15:31		終了	

2/プログラム

<基調講演> 「ビジネスマインドアスリートが今後の 日本を変える」

アスリートとしての資質を、ビジネス（ライフ）においても活かせるアスリートを育てることが、日本のビジネスシーンや社会においても大きな影響・価値をもたらします。
核となる「ビジネスマインドアスリート」について、キャリアデザイン有識者・元アスリートを代表する2名の講演を行った。

基調講演（各1人/20分）

【各30分】

●元アスリートの立場から



鈴木 啓太 氏

（AuB(株)代表取締役・元サッカー日本代表）

※2018年度 次世代アスリートキャリア育成大使

2000年浦和レッズに入団。レギュラーを勝ち取ると2015シーズンで引退するまで浦和レッズにとって欠かせない選手として活躍。

2006年にオシム監督が日本代表に就任すると日本代表に選出され、オシムジャパンとしては、唯一全試合先発出場を果たす。

現在はサッカーの普及に関わるとともに、AuB株式会社を立ち上げ、アスリートの腸内細菌を解析、コンディショニングサポート事業を手がける。

●キャリアデザイン有識者の立場から



田中 研之輔 氏

（法政大学キャリアデザイン学部教授）

専門は、キャリア論。一橋大学大学院社会学研究科博士課程を経て、メルボルン大学、カリフォルニア大学バークレー校で客員研究員をつとめられ、社会学の博士を取得。

『辞める研修 辞めない研修—新人育成の組織エスノフィー』、『覚醒せよ、わが身体。』等著書24冊。

経営戦略、事業戦略にて企業の取締役、社外顧問を17社歴任。

(テーマ)「今後求められるアスリート像と キャリア支援プログラムの方向性」

基調講演の3名に加え、元アスリート、指導者、支援企業関係者が参加し、「アスリートに必要なと思われるキャリア支援プログラム」について議論し、今後の発展につなげる。

トークセッション (60分)

【60分】



原田 裕花 氏

(バスケットボール解説者/元バスケットボール女子日本代表)

※2019年度 次世代アスリートキャリア育成大使

山口県出身。小学校3年でミニバスケットボールを始める。山口県富田中学校・大分県藤蔭高校ではキャプテンとして活躍。87年(株)ジャパンエナジー入社(現JX・ENEOS)。1年目から日本代表チーム入り、日本代表キャプテンも務める。二度の膝靭帯断裂にみまわれつつも見事復活し、カムバック賞を受賞。1996年アトランタオリンピック7位入賞の原動力となる。現在はバスケットボールクリニックやテレビ解説などで活躍中。



岩政 大樹 氏

(元サッカー日本代表)

山口県大島郡周防大島町生まれ。2004年東京学芸大学卒業後、鹿島アントラーズに入団。リーグ優勝3回、ヤマザキナビスコカップ優勝2回、天皇杯優勝2回に貢献する。その後、タイ・プレミアリーグのBECテロ・サーサナ、J2・ファジアーノ岡山などで活躍し、2018年いっばいで現役引退。

サッカー日本代表でもプレーし、2010年FIFAワールドカップ・南アフリカ大会出場、2011年アジアカップ優勝。国際Aマッチ8試合出場

●アスリートキャリア関連団体・企業の立場から



森下 尚紀 氏

((株)MPandC代表取締役社長/青山学院大学産学連携コーディネーター)

セガサミーグループとして、スポーツビジネスの総合マネジメント会社を経営。事業内容はスポーツコンサルティング、スクール等多岐に渡る。アスリートと地域(まち)をつなげ、スポーツの力で地域を元気にする“アスマッチプロジェクト”の代表も務め、多くのスポーツ有識者やアスリートが活動に協力している。青山学院大学スポーツキャリアプログラム特別研究員/日本サッカー協会登録仲介人/スポーツキャリアサポートコンソーシアム会員。

※基調講演者 2名も登壇

- ・田中 研之輔 氏 法政大学キャリアデザイン学部教授
- ・鈴木 啓太 氏 AuB(株)代表取締役・元サッカー日本代表

※MC (進行)



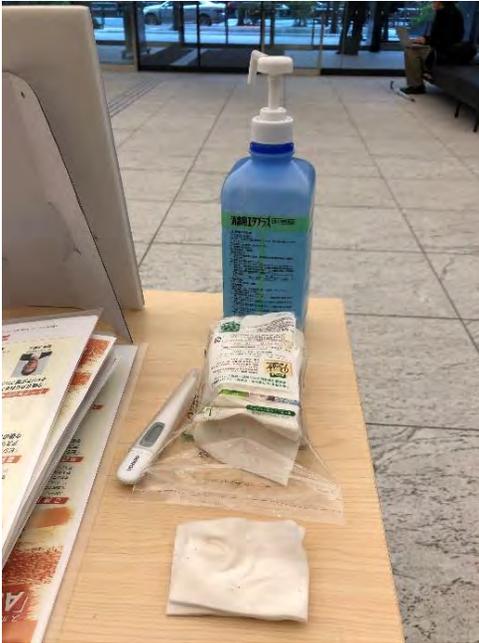
・真鍋杏奈 フリーアナウンサー

●現在出演中
ラジオ日本「岩瀬恵子スマートニュース」
ラジオ日本「ジャイアンツナイター」
他、TVレポーター

3 / 記録写真

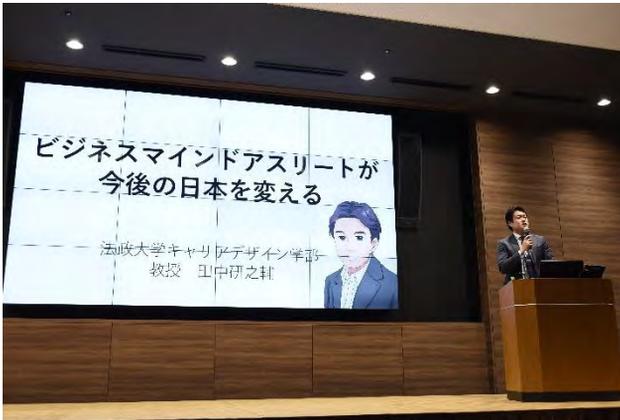
記録写真(1) 新型コロナウイルス感染症対策・受付

- ・感染症対策として、来場者には事前にマスク着用をお願いを当日は手指消毒の徹底を実施。
(消毒液設置：1F、14F受付／14F会場入り口2か所)
- ・スタッフについては、マスク着用、検温、手指消毒を実施。
- ・参加関係者席は、2人掛け机（1500×600）に1人掛けで用意し、席との間隔を設ける。













4/ 告知

集客方法・告知・広報について

- 関係者、招待者へのご案内
- 一般へのご案内

【開催変更】「Athlete Career Challenge」～スポーツのチカラで未来を変える、Beyond2020 アスリートキャリア形成支援構想～
2020年02月27日

【重要：「Athlete Career Challenge」Kick Off カンファレンス開催方法の変更について】

3月4日開催予定の、「Athlete Career Challenge」Kick Off カンファレンスはイベント参加者等の健康面、安全面を考慮し、感染リスクを回避するため、参加は一部関係者のみとし、規模を縮小した形での実施を決定いたしました。

つきましては、事前にお申込みいただきました方には、誠に申し訳ございませんが、一部関係者のみで実施するため、一般の方の入場・傍聴は出来ません。ご理解くださいますよう、よろしくお願いいたします。

なお、本イベントは、既に多数のお申込みをいただいておりますので、後日、スポーツ庁のSNSや、スポーツ庁WEB広報マガジンDEPORTAREにおいて当日の内容を動画にて配信することを検討しております。

詳細については、改めてスポーツ庁ホームページ・SNS等でご報告いたしますので、ご確認ください。

※本イベントは、事前お申込みいただいた関係者のみで実施するため、一般の方の入場・傍聴は出来ません※

※ご参加にあたっての注意事項

- ・ご参加いただきます関係者のみなさまは、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」にご協力をお願いいたします。（会場入り口にてアルコール消毒を設置いたします。）
- ・一部スタッフのマスク着用に関しまして、ご理解いただきますようお願い申し上げます。
- ・風邪症状がある方は、ご参加をご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。

感染症対策告知（会場内）

- 会場内受付・入口に下記サインを設置し、感染症対策を周知します A4パウチ × 8枚

●「感染症対策」 A4パウチ × 8枚

感染症対策 へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い 正しい手の洗い方

- 1 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- 2 手の甲をのばすようにこすります。
- 3 指先・爪の間を念入りこすります。
- 4 指の縫いを洗います。
- 5 親指と手のひらをねじり洗います。
- 6 手首も忘れずに洗います。

石けんを洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット 3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやる

- × 何もせずに咳やくしゃみをする
- × 咳やくしゃみを手でおさえる
- マスクを着用する（口・鼻を覆う）
- ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う
- 袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用

- 1 鼻と口の両方を確実に覆う
- 2 ごみおちを耳に掛ける
- 3 隙間がないよう鼻まで覆う

首相官邸 厚生労働省

●「手洗い消毒」 A4パウチ × 6枚

感染症予防のため
手指の消毒を
お願いいたします。



アルコール消毒（一部、ボトルは異なります）

集客方法・告知・広報について

- 関係者、招待者へのご案内
- 一般へのご案内
 - 告知開始日：2/14（金）
→ スポーツ庁 サイトUP
 - 来場者の事前登録方法
・登録サイト等のオープン日時も併せて：2/14（金）

広報について

- 報道関係者へのご案内
 - <PR関係>
 - メディア・リリース
→ スポーツ庁 2月14日/記者クラブ・リリース配信
 - PRに関しては、記者クラブや、コンソーシアムとも連携しつつ、各種関連団体・企業等にSNSやメール等を通じて案内の協力をすすめる。
 - PR事務局からも、メディアに対してはご案内、注力メディア等には別途ご案内。

スポーツ庁 サイト 2/27UP

チラシ



トップ > お知らせ > 報道発表資料 > 令和元年度 報道発表資料 > 「Athlete Career Challenge Kick Off カンファレンス～スポーツのチカラで未来を変える、Beyond2020 アスリートキャリア形成支援構想～」の開催について

「Athlete Career Challenge Kick Off カンファレンス～スポーツのチカラで未来を変える、Beyond2020 アスリートキャリア形成支援構想～」の開催について

令和2年2月14日

スポーツ庁では、アスリートが引退後の人生でもその能力を発揮出来るよう、委託事業「スポーツキャリアサポート戦略」において、アスリートのキャリア形成をサポートしています。
このたび、ポスト2020を見据え、アスリートの人材価値を社会に向けて発信するため、スポーツ庁委託事業イベント「Athlete Career Challenge Kick Off カンファレンス～スポーツのチカラで未来を変える、Beyond2020 アスリートキャリア形成支援構想～」を以下の通り開催することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

【重要なお知らせ】
3月4日開催予定の、「Athlete Career Challenge」Kick Off カンファレンスはイベント参加者等の健康面、安全面を考慮し、感染リスクを回避するため、事前申し込みいただいた関係者のみの参加とし、規模を縮小した形での実施を決定いたしました。一般申し込みから、お申し込みいただきました方には、誠に申し訳ございませんが、ご理解のほど、よろしくお願いたします。

なお、本イベントへ一般の方からの多数のお申し込みをいただいておりますので、後日、スポーツ庁のSNSや、スポーツ庁WEB広報マガジンDEPARTAREにて当日の内容を動画にて配信することを検討しております。
詳細については、改めてホームページ、SNS等でご報告いたしますので、ご確認ください。
※本イベントは、事前お申し込みいただいた関係者のみで実施するため、一般の方の入場、傍聴は出来ません※

※ご参加にあたっての注意事項
・ご参加いただきます関係者のみなさまは、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」にご協力をお願いいたします。(会場入り口にてアルコール消毒を設置いたします。)
・一部スタッフのマスク着用に関しまして、ご理解いただきますようお願い申し上げます。
・風邪症状がある方は、ご参加をご遠慮いただきますようお願い申し上げます。

- 日時：令和2年3月4日(水曜日) 13時00分～15時30分
(開場・関係者受付：12時00分～、メディア受付：12時15分～)
- 場所：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 14階 岸摩一メモリアルルーム (東京都新宿区豊ヶ丘4番2号)
- 参加費：無料

- プログラム※詳細は別添1を参照ください。
(1) スポーツ庁長官挨拶
(2) イベント趣旨説明
(3) ネットアスリートファンด์概要説明(日本スポーツ振興センターより)
(4) オートセッション
(5) 基調講演

【ビジネスマインドアスリートが今後の日本を変える。】
※登壇者
・田中研之輔氏(法政大学キャリアデザイン学部教授)
・鈴木啓太氏(AuB株式会社代表取締役/元サッカー日本代表)
・平本哲也氏(株式会社ドールコーヒーマネジメント代表取締役)

- トークセッション
【今後求められるアスリート像とキャリア支援プログラムの方向性】
※登壇者
・岩政大樹氏(元サッカー日本代表)
・原田裕花氏(バスケットボール解説者/元バスケットボール女子日本代表)
・森下尚紀氏(株式会社MPandC代表取締役社長/青山学院大学産学連携コーディネーター)
・星川太輔氏(一般社団法人Double Education代表理事) ※ファシリテーター
※上記講演者3名もトークセッションに参加

5. 一般申し込み
一般申し込みに関しては、中止とさせていただきます。ご応募いただきました方には誠に申し訳ございません。ご理解のほど、よろしくお願いたします。

6. 取材申し込み：別添2「ご出欠返信用紙」にて、下記PR事務局宛にてお申し込みください。
「Athlete Career Challenge」Kick Off カンファレンスPR事務局
FAX:03-5778-4747 / E-mail:frontier-pr@frontier-ico.jp
※取材はフルオープン、プレスブリーフィングを12時50分から実施

7. 感染症対策へのご協力をお願い
・新型コロナウイルスを含む感染症対策のため、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」へのご協力をお願いいたします。(当日は会場にアルコール消毒液を準備いたします。)
・風邪症状がある方は、ご参加をご遠慮いただきますようお願い申し上げます。

- ▶【別添1】カンファレンスチラシ (PDF:2.8MB)
- ▶【別添2】ご出欠用紙(取材申し込み) (PDF:1.4MB)

お問合せ先

<本件イベントに関するお問い合わせ先>
「Athlete Career Challenge」Kick Off カンファレンスPR事務局
電話：03-5778-4844
メールアドレス：frontier-pr@frontier-ico.jp

<スポーツ庁委託事業に関するお問い合わせ先>
スポーツ庁参事官(長期スポーツ担当) 高橋木 成野
電話：03-5253-4111(代表) (内線：2686)
メールアドレス：sminkan@mext.go.jp

「Athlete Career Challenge」Kick Off カンファレンス
～スポーツのチカラで未来を変える、Beyond2020 アスリートキャリア形成支援構想～

日時：2020年3月4日(水) 13:00～15:30(開場12:00～)
会場：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 14階 岸摩一メモリアルルーム
定員(観覧)：50名
【お申し込み】「Athlete Career Challenge」Kick Off カンファレンス事務局

ご挨拶
スポーツキャリアサポート戦略は、2020年東京オリンピック(パラリンピック)競技大会に向け、国としてアスリートの競技力向上を推進している中、トップアスリートが安心してスポーツに専念できるよう、アスリートのキャリアについて、関係者が協働して加勢的支援を行うための仕組みを構築することを目的としています。
本カンファレンスでは、「スポーツのチカラで未来を変える、Beyond2020 アスリートキャリア形成支援構想」を大きなテーマとして、アスリートキャリアの育成者・関係者、元アスリート、支援企業が集まり、今後のアスリートへの支援体制や、キャリア支援プログラムについて議論し、事業の推進を図ります。

基調講演
「ビジネスマインドアスリートが今後の日本を変える」
アスリートとしての資質を、ビジネス(イフ)においても活かせるアスリートを育てることが、日本にビジネスシーンや社会においても大きな価値(価値をもたらします。格と)となる「ビジネスマインドアスリート」について、キャリアデザイン有識者・元アスリートが代表するもの講演を行います。

トークセッション
「今後求められるアスリート像とキャリア支援プログラムの方向性」
講演者3名に元アスリート、支援企業関係者が参加し、「アスリートに必要とされるキャリア支援プログラム」について議論し、今後の発展につなげます。

登壇者プロフィール
【基調講演】
鈴木啓太氏 (AuB株式会社代表取締役/元サッカー日本代表)
田中研之輔氏 (法政大学キャリアデザイン学部教授)
【トークセッション】
岩政大樹氏 (元サッカー日本代表)
原田裕花氏 (バスケットボール解説者/元バスケットボール女子日本代表)
森下尚紀氏 (株式会社MPandC代表取締役社長/青山学院大学産学連携コーディネーター)
星川太輔氏 (一般社団法人Double Education代表理事) ※ファシリテーター

●当日配布用は、登壇者・プログラム修正・更新版(星川氏登壇予定のママとなります)

TIME	プログラム	内容・登壇者
13:00	開会挨拶・事業説明(キックオフ)	・開会挨拶 鈴木 大樹 スポーツ庁参事官 ・イベント趣旨説明 川原 大樹 スポーツ庁参事官
13:13	ネットアスリートファンด์概要説明	・日本スポーツ振興センター理事 寺島 隆雄 氏
13:20	オートセッション	
13:30	基調講演 「ビジネスマインドアスリートが今後の日本を変える」	・AuB株式会社代表取締役 鈴木 啓太 氏 ・法政大学キャリアデザイン学部教授 田中 研之輔 氏
14:30	トークセッション 「今後求められるアスリート像とキャリア支援プログラムの方向性」	・法政大学キャリアデザイン学部教授 田中 研之輔 氏 ・AuB株式会社代表取締役 鈴木 啓太 氏 ・バスケットボール解説者 原田 裕花 氏 ・株式会社MPandC代表取締役社長 森下 尚紀 氏 (ファシリテーター) ・一般社団法人Double Education代表理事 星川 太輔 氏
15:30	終了	

登壇者プロフィール

【基調講演】
AuB株式会社代表取締役/元サッカー日本代表
鈴木 啓太 氏
1991年生まれ。2006年現職に入社。2014年、元サッカー日本代表として、2006年アジアサッカー選手権大会に出場。2014年、2018年FIFAワールドカップに出場。2018年、2019年、2020年、2021年、2022年、2023年、2024年、2025年、2026年、2027年、2028年、2029年、2030年、2031年、2032年、2033年、2034年、2035年、2036年、2037年、2038年、2039年、2040年、2041年、2042年、2043年、2044年、2045年、2046年、2047年、2048年、2049年、2050年、2051年、2052年、2053年、2054年、2055年、2056年、2057年、2058年、2059年、2060年、2061年、2062年、2063年、2064年、2065年、2066年、2067年、2068年、2069年、2070年、2071年、2072年、2073年、2074年、2075年、2076年、2077年、2078年、2079年、2080年、2081年、2082年、2083年、2084年、2085年、2086年、2087年、2088年、2089年、2090年、2091年、2092年、2093年、2094年、2095年、2096年、2097年、2098年、2099年、2100年、2101年、2102年、2103年、2104年、2105年、2106年、2107年、2108年、2109年、2110年、2111年、2112年、2113年、2114年、2115年、2116年、2117年、2118年、2119年、2120年、2121年、2122年、2123年、2124年、2125年、2126年、2127年、2128年、2129年、2130年、2131年、2132年、2133年、2134年、2135年、2136年、2137年、2138年、2139年、2140年、2141年、2142年、2143年、2144年、2145年、2146年、2147年、2148年、2149年、2150年、2151年、2152年、2153年、2154年、2155年、2156年、2157年、2158年、2159年、2160年、2161年、2162年、2163年、2164年、2165年、2166年、2167年、2168年、2169年、2170年、2171年、2172年、2173年、2174年、2175年、2176年、2177年、2178年、2179年、2180年、2181年、2182年、2183年、2184年、2185年、2186年、2187年、2188年、2189年、2190年、2191年、2192年、2193年、2194年、2195年、2196年、2197年、2198年、2199年、2200年、2201年、2202年、2203年、2204年、2205年、2206年、2207年、2208年、2209年、2210年、2211年、2212年、2213年、2214年、2215年、2216年、2217年、2218年、2219年、2220年、2221年、2222年、2223年、2224年、2225年、2226年、2227年、2228年、2229年、2230年、2231年、2232年、2233年、2234年、2235年、2236年、2237年、2238年、2239年、2240年、2241年、2242年、2243年、2244年、2245年、2246年、2247年、2248年、2249年、2250年、2251年、2252年、2253年、2254年、2255年、2256年、2257年、2258年、2259年、2260年、2261年、2262年、2263年、2264年、2265年、2266年、2267年、2268年、2269年、2270年、2271年、2272年、2273年、2274年、2275年、2276年、2277年、2278年、2279年、2280年、2281年、2282年、2283年、2284年、2285年、2286年、2287年、2288年、2289年、2290年、2291年、2292年、2293年、2294年、2295年、2296年、2297年、2298年、2299年、2300年、2301年、2302年、2303年、2304年、2305年、2306年、2307年、2308年、2309年、2310年、2311年、2312年、2313年、2314年、2315年、2316年、2317年、2318年、2319年、2320年、2321年、2322年、2323年、2324年、2325年、2326年、2327年、2328年、2329年、2330年、2331年、2332年、2333年、2334年、2335年、2336年、2337年、2338年、2339年、2340年、2341年、2342年、2343年、2344年、2345年、2346年、2347年、2348年、2349年、2350年、2351年、2352年、2353年、2354年、2355年、2356年、2357年、2358年、2359年、2360年、2361年、2362年、2363年、2364年、2365年、2366年、2367年、2368年、2369年、2370年、2371年、2372年、2373年、2374年、2375年、2376年、2377年、2378年、2379年、2380年、2381年、2382年、2383年、2384年、2385年、2386年、2387年、2388年、2389年、2390年、2391年、2392年、2393年、2394年、2395年、2396年、2397年、2398年、2399年、2400年、2401年、2402年、2403年、2404年、2405年、2406年、2407年、2408年、2409年、2410年、2411年、2412年、2413年、2414年、2415年、2416年、2417年、2418年、2419年、2420年、2421年、2422年、2423年、2424年、2425年、2426年、2427年、2428年、2429年、2430年、2431年、2432年、2433年、2434年、2435年、2436年、2437年、2438年、2439年、2440年、2441年、2442年、2443年、2444年、2445年、2446年、2447年、2448年、2449年、2450年、2451年、2452年、2453年、2454年、2455年、2456年、2457年、2458年、2459年、2460年、2461年、2462年、2463年、2464年、2465年、2466年、2467年、2468年、2469年、2470年、2471年、2472年、2473年、2474年、2475年、2476年、2477年、2478年、2479年、2480年、2481年、2482年、2483年、2484年、2485年、2486年、2487年、2488年、2489年、2490年、2491年、2492年、2493年、2494年、2495年、2496年、2497年、2498年、2499年、2500年、2501年、2502年、2503年、2504年、2505年、2506年、2507年、2508年、2509年、2510年、2511年、2512年、2513年、2514年、2515年、2516年、2517年、2518年、2519年、2520年、2521年、2522年、2523年、2524年、2525年、2526年、2527年、2528年、2529年、2530年、2531年、2532年、2533年、2534年、2535年、2536年、2537年、2538年、2539年、2540年、2541年、2542年、2543年、2544年、2545年、2546年、2547年、2548年、2549年、2550年、2551年、2552年、2553年、2554年、2555年、2556年、2557年、2558年、2559年、2560年、2561年、2562年、2563年、2564年、2565年、2566年、2567年、2568年、2569年、2570年、2571年、2572年、2573年、2574年、2575年、2576年、2577年、2578年、2579年、2580年、2581年、2582年、2583年、2584年、2585年、2586年、2587年、2588年、2589年、2590年、2591年、2592年、2593年、2594年、2595年、2596年、2597年、2598年、2599年、2600年、2601年、2602年、2603年、2604年、2605年、2606年、2607年、2608年、2609年、2610年、2611年、2612年、2613年、2614年、2615年、2616年、2617年、2618年、2619年、2620年、2621年、2622年、2623年、2624年、2625年、2626年、2627年、2628年、2629年、2630年、2631年、2632年、2633年、2634年、2635年、2636年、2637年、2638年、2639年、2640年、2641年、2642年、2643年、2644年、2645年、2646年、2647年、2648年、2649年、2650年、2651年、2652年、2653年、2654年、2655年、2656年、2657年、2658年、2659年、2660年、2661年、2662年、2663年、2664年、2665年、2666年、2667年、2668年、2669年、2670年、2671年、2672年、2673年、2674年、2675年、2676年、2677年、2678年、2679年、2680年、2681年、2682年、2683年、2684年、2685年、2686年、2687年、2688年、2689年、2690年、2691年、2692年、2693年、2694年、2695年、2696年、2697年、2698年、2699年、2700年、2701年、2702年、2703年、2704年、2705年、2706年、2707年、2708年、2709年、2710年、2711年、2712年、2713年、2714年、2715年、2716年、2717年、2718年、2719年、2720年、2721年、2722年、2723年、2724年、2725年、2726年、2727年、2728年、2729年、2730年、2731年、2732年、2733年、2734年、2735年、2736年、2737年、2738年、2739年、2740年、2741年、2742年、2743年、2744年、2745年、2746年、2747年、2748年、2749年、2750年、2751年、2752年、2753年、2754年、2755年、2756年、2757年、2758年、2759年、2760年、2761年、2762年、2763年、2764年、2765年、2766年、2767年、2768年、2769年、2770年、2771年、2772年、2773年、2774年、2775年、2776年、2777年、2778年、2779年、2780年、2781年、2782年、2783年、2784年、2785年、2786年、2787年、2788年、2789年、2790年、2791年、2792年、2793年、2794年、2795年、2796年、2797年、2798年、2799年、2800年、2801年、2802年、2803年、2804年、2805年、2806年、2807年、2808年、2809年、2810年、2811年、2812年、2813年、2814年、2815年、2816年、2817年、2818年、2819年、2820年、2821年、2822年、2823年、2824年、2825年、2826年、2827年、2828年、2829年、2830年、2831年、2832年、2833年、2834年、2835年、2836年、2837年、2838年、2839年、2840年、2841年、2842年、2843年、2844年、2845年、2846年、2847年、2848年、2849年、2850年、2851年、2852年、2853年、2854年、2855年、2856年、2857年、2858年、2859年、2860年、2861年、2862年、2863年、2864年、2865年、2866年、2867年、2868年、2869年、2870年、2871年、2872年、2873年、2874年、2875年、2876年、2877年、2878年、2879年、2880年、2881年、2882年、2883年、2884年、2885年、2886年、2887年、2888年、2889年、2890年、2891年、2892年、2893年、2894年、2895年、2896年、2897年、2898年、2899年、2900年、2901年、2902年、2903年、2904年、2905年、2906年、2907年、2908年、2909年、2910年、2911年、2912年、2913年、2914年、2915年、2916年、2917年、2918年、2919年、2920年、2921年、2922年、2923年、2924年、2925年、2926年、2927年、2928年、2929年、2930年、2931年、2932年、2933年、2934年、2935年、2936年、2937年、2938年、2939年、2940年、2941年、2942年、2943年、2944年、2945年、2946年、2947年、2948年、2949年、2950年、2951年、2952年、2953年、2954年、2955年、2956年、2957年、2958年、2959年、2960年、2961年、2962年、2963年、2964年、2965年、2966年、2967年、2968年、2969年、2970年、2971年、2972年、2973年、2974年、2975年、2976年、2977年、2978年、2979年、2980年、2981年、2982年、2983年、2984年、2985年、2986年、2987年、2988年、2989年、2990年、2991年、2992年、2993年、2994年、2995年、2996年、2997年、2998年、2999年、3000年、3001年、3002年、3003年、3004年、3005年、3006年、3007年、3008年、3009年、3010年、3011年、3012年、3013年、3014年、3015年、3016年、3017年、3018年、3019年、3020年、3021年、3022年、3023年、3024年、3025年、3026年、3027年、3028年、3029年、3030年、3031年、3032年、3033年、3034年、3035年、3036年、3037年、3038年、3039年、3040年、3041年、3042年、3043年、3044年、3045年、3046年、3047年、3048年、3049年、3050年、3051年、3052年、3053年、3054年、3055年、3056年、3057年、3058年、3059年、3060年、3061年、3062年、3063年、3064年、3065年、3066年、3067年、3068年、3069年、3070年、3071年、3072年、3073年、3074年、3075年、3076年、3077年、3078年、3079年、3080年、3081年、3082年、3083年、3084年、3085年、3086年、3087年、3088年、3089年、3090年、3091年、3092年、3093年、3094年、3095年、3096年、3097年、3098年、3099年、3100年、3101年、3102年、3103年、3104年、3105年、3106年、3107年、3108年、3109年、3110年、3111年、3112年、3113年、3114年、3115年、3116年、3117年、3118年、3119年、3120年、3121年、3122年、3123年、3124年、3125年、3126年、3127年、3128年、3129年、3130年、3131年、3132年、3133年、3134年、3135年、3136年、3137年、3138年、3139年、3140年、3141年、3142年、3143年、3144年、3145年、3146年、3147年、3148年、3149年、3150年、3151年、3152年、3153年、3154年、3155年、3156年、3157年、3158年、3159年、3160年、3161年、3162年、3163年、3164年、3165年、3166年、3167年、3168年、3169年、3170年、3171年、3172年、3173年、3174年、3175年、3176年、3177年、3178年、3179年、3180年、3181年、3182年、3183年、3184年、3185年、3186年、3187年、3188年、3189年、3190年、3191年、3192年、3193年、3194年、3195年、3196年、3197年、3198年、3199年、3200年、3201年、3202年、3203年、3204年、3205年、3206年、3207年、3208年、3209年、3210年、3211年、3212年、3213年、3214年、3215年、3216年、3217年、3218年、3219年、3220年、3221年、3222年、3223年、3224年、3225年、3226年、3227年、3228年、3229年、3230年、3231年、3232年、3233年、3234年、3235年、3236年、3237年、3238年、3239年、3240年、3241年、3242年、3243年、3244年、3245年、3246年、3247年、3248年、3249年、3250年、3251年、3252年、3253年、3254年、3255年、3256年、3257年、3258年、3259年、3260年、3261年、3262年、3263年、3264年、3265年、3266年、3267年、3268年、3269年、3270年、3271年、3272年、3273年、3274年、3275年、3276年、3277年、3278年、3279年、3280年、3281年、3282年、3283年、3284年、3285年、3286年、3287年、3288年、3289年、3290年、3291年、3292年、3293年、3294年、3295年、3296年、3297年、3298年、3299年、3300年、3301年、3302年、3303年、3304年、3305年、3306年、3307年、3308年、3309年、3310年、3311年、3312年、3313年、3314年、3315年、3316年、3317年、3318年、3319年、3320年、3321年、3322年、3323年、3324年、3325年、3326年、3327年、3328年、3329年、3330年、3331年、3332年、3333年、3334年、3335年、3336年、3337年、3338年、3339年、3340年、3341年、3342年、3343年、3344年、3345年、3346年、3347年、3348年、3349年、3350年、3351年、3352年、3353年、3354年、3355年、3356年、3357年、3358年、3359年、3360年、3361年、3362年、3363年、3364年、3365年、3366年、3367年、3368年、3369年、3370年、3371年、3372年、3373年、3374年、3375年、3376年、3377年、3378年、3379年、3380年、3381年、3382年、3383年、3384年、3385年、3386年、3387年、3388年、3389年、3390年、3391年、3392年、3393年、3394年、3395年、3396年、3397年、3398年、3399年、3400年、3401年、3402年、3403年、3404年、3405年、3406年、3407年、3408年、3409年、3410年、3411年、3412年、3413年、3414年、3415年、3416年、3417年、3418年、3419年、3420年、3421年、3422年、3423年、3424年、3425年、3426年、3427年、3428年、3429年、3430年、3431年、3432年、3433年、3434年、3435年、3436年、3437年、3438年、3439年、3440年、3441年、3442年、3443年、3444年、3445年、3446年、3447年、3448年、3449年、3450年、3451年、3452年、3453年、3454年、3455年、3456年、3457年、3458年、3459年、3460年、3461年、3462年、3463年、3464年、3465年、3466年、3467年、3468年、3469年、3470年、3471年、3472年、3473年、3474年、3475年、3476年、3477年、3478年、3479年、3480年、3481年、3482年、3483年、3484年、3485年、3486年、3487年、3488年、3489年、3490年、3491年、3492年、3493年、3494年、3495年、3496年、3497

PRESS RELEASE(事後速報レポート)

報道関係者各位

2020年3月4日

スポーツ庁委託事業「スポーツキャリアサポート戦略」 「Athlete Career Challenge」 Kick Off カンファレンスを開催しました！

スポーツ庁は、2020年3月4日(水)に、JAPAN SPORT OLYMPIC SQUAREにて、「Athlete Career Challenge」Kick Off カンファレンスを開催し、2020年度以降を見据えたアスリートのキャリア形成支援策について、発表いたしました。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一般参加を取りやめ、事務局関係者・メディアのみの開催)

本事業は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、国としてアスリートの競技力向上を推進している中、トップアスリートが安心してスポーツに専念できるよう、アスリートのキャリアについて、関係者が協働して効果的な支援を行うための仕組みを構築することを目指しています。

当日は、「スポーツのチカラで未来を変える、Beyond2020 アスリートキャリア形成支援構想」を大きなテーマとして、スポーツ庁長官 鈴木大地の開会挨拶からはじまり、日本スポーツ振興センター 今泉柔剛理事からの、「ネクストアスリートファンド(仮)」概要説明、キャリアデザイン有識者・元アスリートの立場から2名の代表者による「ビジネスマインドアスリートが今後の日本を変える」をテーマにした基調講演や、元アスリート、支援企業関係者に、基調講演の2名を加え、「今後求められるアスリート像とキャリア支援プログラムの方向性」について、トークセッションが行われました。

なお、当日の様子は後日、スポーツ庁のウェブサイトにおいて動画配信を行う予定です。

〈当日コメント：スポーツ庁長官 鈴木 大地〉

アスリートのキャリア形成に関しては、関係するスポーツ団体、民間企業等が緊密に連携し、必要な支援を行い、アスリートの人材的な価値を高めていくことが必要と考えています。本カンファレンスでは元アスリート、キャリアデザインの専門家、アスリートキャリア支援企業など様々な観点からお話をいただきます。スポーツ庁としては、本日話し合われた内容を十分に踏まえ、来年度以降のアスリートキャリア形成支援策を進めてまいります。



スポーツ庁長官 鈴木 大地

〈当日コメント：日本スポーツ振興センター理事 今泉 柔剛 氏〉

JSCは、来年度、2030年(SDGsの達成年)を目標に、国民が、スポーツを通じて、より健康かつ幸福な生活を実現することに貢献するために、「ネクストアスリート・ファンド(仮)」を立ち上げます。厚学官連携型基金で「スポーツのチカラで未来を変える」社会に向けてスタートします。

コンセプトは、引退したアスリートが、スポーツを通じて得たチカラを活用し、社会課題の解決に取り組む活動の支援です。また、その成果は次世代アスリートのキャリア育成に役立ちます。支援プログラムの内容は、アスリートが挑戦した「スポーツ×○○」の新商品・新サービス等の事業計画を、年10人程度×10年間＝100事業を選出し、「スポーツSDGsプログラム」として認証し事業資金支援を行い、健康社会・Well Beingの実現を目指します。資金拠出体制は、厚学官連携の事業スキームを前提に、民間企業からの出資を予定しています。



日本スポーツ振興センター (JSC) 理事 今泉 柔剛 氏

P.1

開催概要

- 催事名称 : 「Athlete Career Challenge」Kick Off カンファレンス
～スポーツのチカラで未来を変える、Beyond2020 アスリートキャリア形成支援構想～
- 委託者 : スポーツ庁
- 企画・運営 : 株式会社 ADKマーケティング・ソリューションズ
- 協力 : スポーツキャリアサポートコンソーシアム
- 日時 : 2020年3月4日(水) 13:00～15:30
- 入場者 : 事務局関係者・メディアのみ(一般参加なし、収録動画を後日配信予定)
- 会場 : JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 14階 岸清一メモリアルルーム(東京都新宿区麩ヶ丘町4-2)
- 内容 : 「スポーツのチカラで未来を変える、Beyond2020 アスリートキャリア形成支援構想」を大きなテーマとして、アスリートキャリアの有識者・関係者、元アスリート、支援企業が集まり、今後のアスリートへの支援体制や、キャリア支援プログラムについて議論し、事業の推進を図るカンファレンスの開催。

〈当日プログラム〉

TIME	プログラム	内容・登壇者
13:00	開会挨拶・概要説明(Kick Off)	・開会挨拶 鈴木 大地 スポーツ庁長官 ・概要説明 今泉 柔剛 JSC理事
13:13	ネクストアスリートファンド概要説明	・日本スポーツ振興センター理事 今泉 柔剛 氏
13:20	フォトセッション	
13:30	基調講演 ビジネスマインドアスリートが 今後の日本を変える	・AUB株式会社 代表取締役 鈴木 啓太 氏 ・法政大学キャリアデザイン学部教授 田中 研之輔 氏
14:30	トークセッション 今後求められるアスリート像と キャリア支援プログラムの方向性	・法政大学キャリアデザイン学部教授 田中 研之輔 氏 ・AUB株式会社 代表取締役 鈴木 啓太 氏 ・元サッカー日本代表 齋藤 龍太 氏 ・バスケットボール解説員 藤田 龍生 氏 ・株式会社M-Find代表取締役社長 森下 純哉 氏
15:30	閉幕	

〈当日の様子：フォトセッション、トークセッション〉



長官をはじめ、登壇者全員によるフォトセッション



元アスリートや支援企業関係者等によるトークセッション

〈当日の様子：基調講演〉



AUB代表取締役/元サッカー日本代表 鈴木 啓太氏



法政大学キャリアデザイン学部 教授 田中 研之輔氏

〈本資料に関する報道関係者様からのお問合せ先〉

「Athlete Career Challenge」Kick Off シンポジウムPR事務局 (株式会社フロンティアインターナショナル内)
TEL : 03-5778-4844 / FAX : 03-5778-4747 / mail : frontier-pr@frontier-i.co.jp
担当: 馬場、菅原、千葉

P.2

取材案内状

【ご取材案内状】

報道関係者各位

2020年2月14日

スポーツ庁委託事業「スポーツキャリアサポート戦略」

「Athlete Career Challenge」Kick Off カンファレンス
～スポーツのチカラで未来を変える、Beyond2020 アスリートキャリア形成支援構想～

- ◆日時：2020年3月4日(水) 13:00～(報道受付:12:15～)
- ◆場所：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 14階 岸清一メモリアルルーム (東京都新宿区霞ヶ丘町4-2)
- ◆出席者：鈴木大地 スポーツ庁長官、法政大学キャリアデザイン学部教授 田中 研之輔 氏、AUB株式会社 代表取締役(元サッカー日本代表) 鈴木 啓太 氏、元サッカー日本代表 若政 大樹 氏 ほか

スポーツキャリアサポート戦略は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、国としてアスリートの競技力向上を推進している中、トップアスリートが安心してスポーツに専念できるよう、アスリートのキャリアについて、関係者が協働して効果的な支援を行うための仕組みを構築することを目指しています。

本カンファレンスでは、「スポーツのチカラで未来を変える、Beyond2020 アスリートキャリア形成支援構想」を大きなテーマとして、アスリートキャリアの有識者・関係者、元アスリート、支援企業が集まり、今後のアスリートへの支援体制や、キャリア支援プログラムについて議論し、事業の推進を図ります。

【基調講演】

◆「ビジネスマインドアスリートが今後の日本を変える」

アスリートとしての成長を、ビジネス(ライフ)においても活かせるアスリートになることが、日本をスポーツシーンや社会においても大きな影響・価値を生み出します。現在及び今後のアスリートについて、キャリアデザイン有識者・元アスリート・支援企業を代表する3名の講演を行います。

キャリアデザイン有識者：田中 研之輔 氏 (法政大学キャリアデザイン学部教授)

元アスリート：鈴木 啓太 氏 (AUB株式会社 代表取締役、元サッカー日本代表)

アスリートキャリア支援企業：平本 智也 氏 (株式会社トールコービー 人事総務部長)

【トークセッション】

◆「今後求められるアスリート像と、キャリア支援プログラムの方向性」

基調講演の各名に加え、元アスリート、支援企業関係者が参加し、「アスリートに必要と思われるキャリア支援プログラムについて議論し、今後の発展につなげます。」

元アスリート：鈴木 啓太 氏 (AUB株式会社 代表取締役、元サッカー日本代表)

元アスリート：若政 大樹 氏 (元サッカー日本代表)

元アスリート：原田 裕花 氏 (バスケットボール解説者、元女子バスケットボール日本代表)

キャリアデザイン有識者：田中 研之輔 氏 (法政大学キャリアデザイン学部教授)

アスリートキャリア支援企業：平本 智也 氏 (株式会社トールコービー 人事総務部長)

アスリートキャリア支援企業：森下 尚紀 氏 (株式会社MPandC代表取締役社長、青山学院大学医学部進学コーディネーター)

(ファシリテーター)・星川 太輔 氏 (一般社団法人Double Education代表理事)

P.1

開催概要

- 催事名称：「Athlete Career Challenge」Kick Off カンファレンス
～スポーツのチカラで未来を変える、Beyond2020 アスリートキャリア形成支援構想～
- 委託者：スポーツ庁
- 企画・運営：株式会社 ADKマーケティング・ソリューションズ
- 協力：スポーツキャリアサポートコンソーシアム
- 日時：2020年3月4日(水) 13:00～15:30(予定) ※12:00開場 ※メディア受付12:15～
- 入場者：事前申込制(一般80名、関係者・メディア100名予定) ※入場料無料
- 会場：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 14階 岸清一メモリアルルーム (東京都新宿区霞ヶ丘町4-2)
- 内容：「スポーツのチカラで未来を変える、Beyond2020 アスリートキャリア形成支援構想」を大きなテーマとして、アスリートキャリアの有識者・関係者、元アスリート、支援企業が集まり、今後のアスリートへの支援体制や、キャリア支援プログラムについて議論し、事業の推進を図ります。

＜当日プログラム＞

TIME	プログラム	出演・司会者
13:00	開会挨拶・事業説明(キックオフ)	◆開会挨拶: 鈴木 大地 スポーツ庁長官 ◆イベント運営説明: 川倉 貴一 スポーツ庁参事官
13:13	ネクストアスリートファンタジー発表	◆日本スポーツ振興センター 理事 今泉 美樹 氏
13:20	フォトセッション	
13:30	基調講演 「ビジネスマインドアスリートが今後の日本を変える」	◆法政大学キャリアデザイン学部教授 田中 研之輔 氏 ◆AUB株式会社 代表取締役 鈴木 啓太 氏 ◆株式会社トールコービー 人事総務部長 平本 智也 氏
14:30	トークセッション 「今後求められるアスリート像とキャリア支援プログラムの方向性」	◆法政大学キャリアデザイン学部教授 田中 研之輔 氏 ◆AUB株式会社 代表取締役 鈴木 啓太 氏 ◆元サッカー日本代表 若政 大樹 氏 ◆バスケットボール解説者 原田 裕花 氏 ◆株式会社MPandC代表取締役社長 森下 尚紀 氏 (ファシリテーター) ◆一般社団法人Double Education代表理事 星川 太輔 氏
15:30	終了	

＜登壇者紹介＞

基調講演

「ビジネスマインドアスリートが今後の日本を変える」

アスリートとしての成長を、ビジネス(ライフ)においても活かせるアスリートになることが、日本をスポーツシーンや社会においても大きな影響・価値をもたらします。現在及び今後のアスリートについて、キャリアデザイン有識者・元アスリート・支援企業を代表する3名の講演を行います。

法政大学
キャリアデザイン学部教授
田中 研之輔 氏

AUB株式会社
代表取締役
鈴木 啓太 氏

株式会社トールコービー
人事総務部長
平本 智也 氏

トークセッション

「今後求められるアスリート像とキャリア支援プログラムの方向性」

基調講演の各名に加え、元アスリート、支援企業関係者が参加し、「アスリートに必要と思われるキャリア支援プログラムについて議論し、今後の発展につなげます。」

元サッカー日本代表
若政 大樹 氏

バスケットボール解説者
原田 裕花 氏

株式会社MPandC代表取締役社長
青山学院大学医学部進学コーディネーター
森下 尚紀 氏

ファシリテーター
星川 太輔 氏

P.2

ご出欠返信用紙

FAX:03-5778-4747 / E-mail: frontier-pr@frontier-i.co.jp

※戻にお手数ですが、取材のご意向をご記入の上、3月3日(火) 15:00までに上記FAX 番号かメールアドレスへご返信下さいませよう宜しくお願い申し上げます。

- 日時：2020年3月4日(水) 13:00～15:30 ※報道受付：12:15～
- 会場：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 14階 岸清一メモリアルルーム (東京都新宿区霞ヶ丘町4-2)

- ※感染症対策への取り組み
会場ロケールを会場関係者対策のため、「手洗いやマスク着用を含むイベント」への協力をお願いいたします。(当日は会場にアルコール消毒液を準備いたします)
- ※駐車場：主催者側で用意はございませんので、あらかじめご了承ください。
- ※アクセス：東京メトロ丸の内線 外苑前駅(南口)徒歩5分、新大塚駅 国立競技場駅(A2番出口)徒歩10分
京浜東北線(各駅)徒歩12分、京中央線・総武線(各駅)浅草駅 徒歩12分



□ ご出席 ※□にチェック印をお付け下さい

時間	出演者	内容	出席
13:00～(20分)	鈴木 大地: スポーツ庁長官 川倉 貴一: 日本スポーツ振興センター理事	開会挨拶 イベント運営説明 ネクストアスリートファンタジー発表	<input type="checkbox"/>
13:20～(10分)	鈴木 大地: スポーツ庁長官 岸清一メモリアルルーム 司会者	フォトセッション	<input type="checkbox"/>
13:30～(45分) (60分)	田中 研之輔 氏 法政大学キャリアデザイン学部教授 鈴木 啓太 氏 AUB株式会社 代表取締役(元サッカー日本代表) 平本 智也 氏 株式会社トールコービー 人事総務部長	基調講演 「ビジネスマインドアスリートが今後の日本を変える」	<input type="checkbox"/>
14:30～(60分)	(基調講演に引き続き) 田中 研之輔 氏・鈴木 啓太 氏・平本 智也 氏 若政 大樹 氏 元サッカー日本代表 原田 裕花 氏 バスケットボール解説者 元サッカー日本代表 森下 尚紀 氏 株式会社MPandC代表取締役社長 青山学院大学医学部進学コーディネーター (ファシリテーター) 星川 太輔 氏 一般社団法人Double Education代表理事	トークセッション 「今後求められるアスリート像と、キャリア支援プログラムの方向性」	<input type="checkbox"/>

貴社印名 / 貴番組名		
貴社名		
貴部署名		
取材代表者名		
取材者人数	内訳	合計 名
		スチール 計 名
		ENG 計 名
取材代表者 TEL / FAX		
携帯番号		

※ご記入いただきましたご連絡先等は、本事業に関与するのみ使用し、他の目的は一切使用いたしません。

＜本資料に関する報道関係者皆様からのお問合せ先＞「Athlete Career Challenge」Kick Off カンファレンス事務局 (株式会社フロンティアインターナショナル)

TEL: 03-5778-4644 / FAX: 03-5778-4747 / E-mail: frontier-pr@frontier-i.co.jp

担当：馬場、菅原、千葉 当日のご連絡先★馬場直原様：080-5006-7239 菅原貴博様：070-2197-8967

P.3

一般申込サイト 2/14～ ※2/27に開催方法変更、更新

<http://sporttourism.or.jp/athlete-career-challenge.html> ※先着順となります。

【開催変更】「Athlete Career Challenge」～スポーツのチカラで未来を変える、Beyond2020 アスリートキャリア形成支援構想～

2020年02月27日

【重要】「Athlete Career Challenge」Kick Off カンファレンス開催方法の変更について

3月4日開催予定の、「Athlete Career Challenge」Kick Off カンファレンスはイベント参加者等の健康面、安全面を考慮し、感染リスクを回避するため、参加は一部関係者のみとし、規模を縮小した形での実施を決定いたしました。
つきましては、事前にお申込みいただきました方には、誠に申し訳ございませんが、一部関係者のみで実施するため、一般の方の入場・傍聴は出来ません。ご理解くださいますよう、よろしくお願いたします。
なお、本イベントは、既に多数のお申込みをいただいておりますので、後日、スポーツ庁のSNSや、スポーツ庁WEB広報マガジンD SPORTAREにおいて当日の内容を動画にて配信することを検討しております。
詳細については、改めてスポーツ庁ホームページ・SNS等でご報告いたしますので、ご確認ください。

スポーツキャリアサポート戦略は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、国としてアスリートの競技力向上を推進している中、トップアスリートが安心してスポーツに専念できるよう、アスリートのキャリアについて、関係者が協働して効果的な支援を行うための仕組みを構築することを目指しています。
本カンファレンスでは、「スポーツのチカラで未来を変える、Beyond2020 アスリートキャリア形成支援構想」を大きなテーマとして、アスリートキャリアの有識者・関係者、元アスリート、支援企業が集まり、今後のアスリートへの支援体制や、キャリア支援プログラムについて議論し、事業の推進を図ります。

◆開催概要◆

日 時
令和2年3月4日（水）13時00分～15時30分（開場：12時00分）
場 所
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 14階 岸清メモリアルルーム（東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号）
[Google map（地図）](#) を確認する
入場料
無 料
※事前申込制（先着順。申し込み多数の場合は、定員に達し次第申し込みを締め切る場合がございます。）
委託者
スポーツ庁
協 力
スポーツキャリアサポートコンソーシアム
企画・運営
株式会社ADKマーケティング・ソリューションズ
お問い合わせ先
「Athlete Career Challenge」Kick Off カンファレンス申込み受付事務局
メール：conference@sporttourism.or.jp

◆プログラム概要◆ ※内容が変更となる場合がございますのでご了承ください。

13:00～	開会挨拶 鈴木 大地（スポーツ庁長官） イベント趣旨説明 川倉 義（スポーツ庁参事官）
13:13～	ネクストアスリートファンド概要説明 今泉 菜則氏（日本スポーツ振興センター理事）
13:20～	フォトセッション
13:30～【基調講演】	「ビジネスマインドアスリートが今後の日本を変える」 アスリートとしての資質を、ビジネス（ライフ）においても活かせるアスリートを育てることが、日本のビジネスシーンや社会においても大きな影響・価値をもたらします。彼らとなる「ビジネスマインドアスリート」について、キャリアデザイン有識者・元アスリート・支援企業を代表する3名の講演を行います。 <登壇者> ・キャリアデザイン有識者：田中 研之輔 氏（法政大学キャリアデザイン学部教授） ・元アスリート：鈴木 賢太 氏（AuB株式会社 代表取締役、元サッカー日本代表） ・アスリートキャリア支援企業：平本 智也 氏（株式会社ドールコービー 人事総務部部長）
14:30～【トークセッション】	「今後求められるアスリート像と支援プログラムの方向性」 基調講演の3名に加え、元アスリート、支援企業関係者が参加し、「アスリートに必要なと思われるキャリア支援プログラム」について議論し、今後の発展につなげます。 <登壇者> ・元アスリート：鈴木 賢太 氏（AuB株式会社 代表取締役、元サッカー日本代表） ・元アスリート：岩政 大樹 氏（元サッカー日本代表） ・元アスリート：原田 裕花 氏（バスケットボール解説者、元バスケットボール女子日本代表） ・キャリアデザイン有識者：田中 研之輔 氏（法政大学キャリアデザイン学部教授） ・アスリートキャリア支援企業：平本 智也 氏（株式会社ドールコービー 人事総務部部長） ・アスリートキャリア支援企業：森下 尚紀 氏（株式会社MPandC代表取締役社長、青山学院大学産学連携コーディネーター） ファシリテーター：黒川 大輔氏（一般社団法人Double Education代表理事）

◆参加申し込み◆

※開催方法変更に伴い、お申し込みの受付は終了いたしました。

クローズの後は申し込みフォームは削除いたします。

◆参加申し込み◆

*印は必須項目です

氏 名*

ふりがな*

会社・団体名*
(ご所属がない場合は、無しと記載ください)

部署名・お役職
(任意)

メールアドレス*

ご連絡先電話番号* --

備考 (任意)

お申込みにおいてお預かりする個人情報につきましては、上記主催・運営企業/団体にて共有し、各社・団体の個人情報保護方針により適切な取り扱いおよび保護をいたします。
また、主催・運営企業/団体は、お預かりした個人情報をご案内の目的にのみ利用いたします。*

同意する

関係者申込サイト 2/14～ ※2/27に開催方法変更、更新

http://sporttourism.or.jp/athlete-career-challenge_sh.html ※先着順となります。

<関係者専用お申込フォーム>「Athlete Career Challenge」～スポーツのチカラで未来を変える、Beyond2020 アスリートキャリア形成支援構想～

2020年02月27日

<こちらは関係者専用お申込みフォームとなります>

※定員につき締切とさせていただきます。多数のご参加お申し込みありがとうございます。

【重要：「Athlete Career Challenge」Kick Offカンファレンス開催方法の変更】

3月4日開催予定の、「Athlete Career Challenge」Kick Offカンファレンスはイベント参加者等の健康面、安全面を考慮し、感染リスクを回避するため、事前申し込みいただいた関係者のみの参加とし、規模を縮小した形での実施を決定いたしました。一般申し込みから、お申込みいただきました方には、誠に申し訳ございませんが、ご理解のほど、よろしくお願いたします。なお、本イベントへ一般の方からの多数のお申込みをいただいておりますので、後日、**スポーツ庁のSNS**や、スポーツ庁WEB広報マガジンDEPARTAREにおいて当日の内容を動画にて配信することを検討しております。詳細については、改めてホームページ・SNS等でご報告いたしますので、ご確認ください。

※本イベントは、事前お申込みいただいた関係者のみで実施するため、一般の方の入場・傍聴は出来ません。

※ご参加にあたっての注意事項

- ご参加いただけます関係者のみなさまは、「手洗い」や「マスクの着用を含むエチケット」にご協力をお願いいたします。(会場入り口にてアルコール消毒を設置いたします。)
- 一部スタッフのマスク着用に関しまして、ご理解いただけますようお願い申し上げます。
- 風邪症状がある方は、ご参加をご遠慮いただけますよう、お願い申し上げます。

スポーツキャリアサポート戦略は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、国としてアスリートの競技力向上を推進している中、トップアスリートが安心してスポーツに専念できるよう、アスリートのキャリアについて、関係者が協働して効果的な支援を行うための仕組みを構築することを目指しています。

本カンファレンスでは、「スポーツのチカラで未来を変える、Beyond2020 アスリートキャリア形成支援構想」を大きなテーマとして、アスリートキャリアの有識者・関係者、元アスリート、支援企業が集まり、今後のアスリートへの支援体制や、キャリア支援プログラムについて議論し、事業の推進を図ります。

◆開催概要◆

日時

令和2年3月4日(水) 13時00分～15時30分(開場:12時00分)

場所

JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 14階 岸一メモリアルルーム(東京都新宿区麩ヶ丘町4番2号)

Google map(地図)を確認する

入場料

無料

※事前申込制(先着順。申し込み多数の場合は、定員に達し次第申し込みを締め切る場合がございます。)

委託者

スポーツ庁

協力

スポーツキャリアサポートコンソーシアム

企画・運営

株式会社ADKマーケティング・ソリューションズ

お問い合わせ先

「Athlete Career Challenge」Kick Offカンファレンス申込み受付事務局

メール: conference@sporttourism.or.jp

◆プログラム概要◆ ※内容が変更となる場合がございますのでご了承ください。

13:00～

開会挨拶

鈴木大地(スポーツ庁長官)

イベント趣旨説明

川合 現(スポーツ庁参事官)

13:13～

ネクストアスリートファンド概要説明

今泉 菜剛氏(日本スポーツ振興センター理事)

13:20～

フォトセッション

13:30～【基調講演】

「ビジネスマインドアスリートが今後の日本を変える」

アスリートとしての資質を、ビジネス(ライフ)においても活かせるアスリートを育てることが、日本のビジネスシーンや社会においても大きな影響・価値をもたらします。積となる「ビジネスマインドアスリート」について、キャリアデザイン有識者・元アスリート・支援企業を代表する3名の講演を行います。

<登壇者>

- キャリアデザイン有識者: 田中 研之輔 氏(法政大学キャリアデザイン学部教授)
- 元アスリート: 鈴木 啓太 氏(AuB株式会社 代表取締役、元サッカー日本代表)
- アスリートキャリア支援企業: 平本 賢也 氏(株式会社ドトルコービー 人事総務部部長)

14:30～【トークセッション】

「今後求められるアスリート像と支援プログラムの方向性」

基調講演の3名に加え、元アスリート、支援企業関係者が参加し、「アスリートに必要なと思われるキャリア支援プログラム」について議論し、今後の発展につなげます。

<登壇者>

- 元アスリート: 鈴木 啓太 氏(AuB株式会社 代表取締役、元サッカー日本代表)
- 元アスリート: 岩政 大樹 氏(元サッカー日本代表)
- 元アスリート: 原田 裕花 氏(バスケットボール解説者、元バスケットボール女子日本代表)
- キャリアデザイン有識者: 田中 研之輔 氏(法政大学キャリアデザイン学部教授)
- アスリートキャリア支援企業: 平本 賢也 氏(株式会社ドトルコービー 人事総務部部長)
- アスリートキャリア支援企業: 森下 尚紀 氏(株式会社MPandC代表取締役社長、青山学院大学産学連携コーディネーター)
- ファシリテーター: 星川 大輔 氏(一般社団法人Double Education代表理事)

◆参加申し込み◆

定員につき締切とさせていただきます。多数のご参加お申し込みありがとうございます。

クローズの後は申し込みフォームは削除いたします。

◆参加申し込み◆

*印は必須項目です

氏名*	<input type="text"/>
ふりがな*	<input type="text"/>
会社・団体名* (ご所属先がない場合は、無しと記載ください)	<input type="text"/>
部署名・お役職 (任意)	<input type="text"/>
メールアドレス*	<input type="text"/>
ご連絡先電話番号*	<input type="text"/>
備考(任意)	<input type="text"/>

お申込みにおいてお預かりする個人情報につきましては、上記主催・運営企業/団体にて共有し、各社・団体の個人情報保護方針により適切な取り扱いおよび保護をいたします。

また、主催・運営企業/団体は、お預かりした個人情報をカンファレンス情報のご案内の目的にのみ利用いたします。*

同意する

5/アンケート

アンケート内容

「Athlete Career Challenge」Kick Off カンファレンス アンケート

本日は、「Athlete Career Challenge」Kick Off カンファレンスにご参加いただき、誠にありがとうございます。
今後の参考に、アンケートにご協力いただけますようお願いいたします。

Q1.ご所属を教えてください。当てはまるものに、チェックをつけてください。

- 報道関係者 経済界関係者 スポーツ団体関係者 スポーツ競技団体関係者 民間企業
その他 ()

Q2.「Athlete Career Challenge」Kick Off カンファレンスをどのように知りましたか。当てはまるものすべてに、
チェックをつけてください。(複数回答可)

- ・スポーツ庁
ホームページ プレスリリース Facebook Twitter その他 ()

- ・スポーツキャリアサポートコンソーシアム
ホームページ メールマガジン Facebook Twitter その他 ()

- ・上記以外のメディア(発信元:)
ホームページ メールマガジン Facebook Twitter その他 ()

- ・その他
社内 知人 関係者 その他 ()

Q3.プログラム内容について、当てはまるものにチェックをつけてください。

- (1) 基調講演1「ビジネスマインドアスリートが今後の日本を変える」鈴木 啓太 氏 (AuB代表取締役・
元サッカー日本代表)は、参考になりましたか。
大変参考になった 参考になった あまり参考にならなかった
参考にならなかった どちらとも言えない

(ご意見・ご感想)

- (2) 基調講演2「ビジネスマインドアスリートが今後の日本を変える」田中 研之輔 氏 (法政大学キャリア
デザイン学部教授)は、参考になりましたか。
大変参考になった 参考になった あまり参考にならなかった
参考にならなかった どちらとも言えない

(ご意見・ご感想)

- (3) トークセッション「今後求められるアスリート像とキャリア支援プログラムの方向性」は、参考になりましたか。
大変参考になった 参考になった あまり参考にならなかった
参考にならなかった どちらとも言えない

(ご意見・ご感想)

(裏面に続きます)

「Athlete Career Challenge」Kick Off カンファレンス アンケート

Q4.「ネクストアスリートファンド(仮)」に、今後期待すること、要望等をご自由にお書きください。

(ご意見・ご感想)

Q5.スポーツ庁の「スポーツキャリアサポート戦略」事業全体に、今後期待すること、要望等をご自由にお書きください。

(ご意見・ご感想)

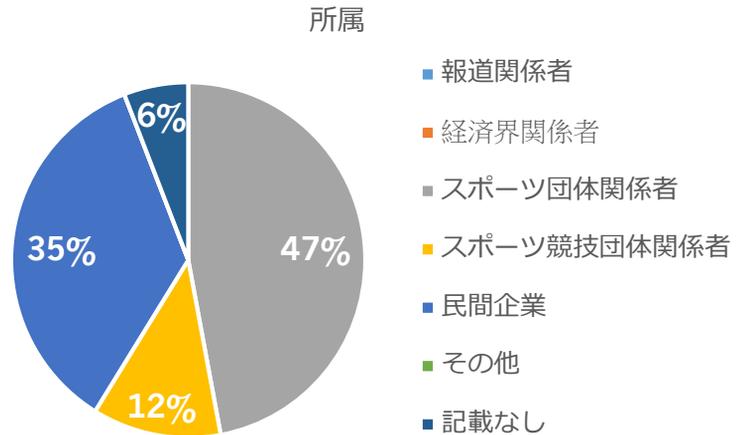
Q6.その他、ご意見・ご感想等あればご自由にお書きください。

(ご意見・ご感想)

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

■ Q1、ご所属を教えてください。

所属	人数
報道関係者	0
経済界関係者	0
スポーツ団体関係者	8
スポーツ競技団体関係者	2
民間企業	6
その他	0
記載なし	1
合計	17



■ Q2、「Athlete Career Challenge」Kick Off カンファレンスをどのように知りましたか。 複数回答可。

イベント認知経路(スポーツ庁)

●スポーツ庁

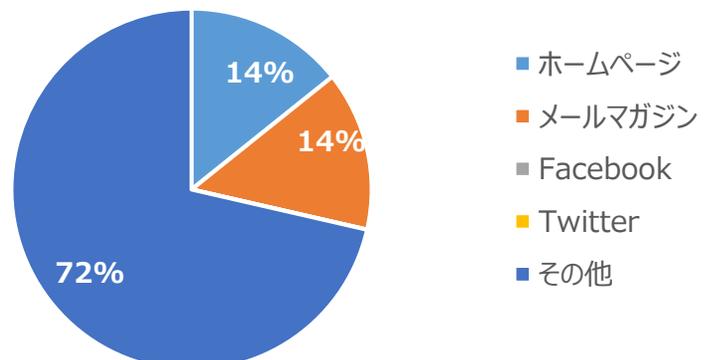
スポーツ庁経路	数
ホームページ	1
プレスリリース	2
Facebook	0
Twitter	0
その他	1
合計	4



●スポーツキャリアサポートコンソーシアム

スポーツキャリアサポートコンソーシアム	数
ホームページ	1
メールマガジン	1
Facebook	0
Twitter	0
その他	5
合計	7

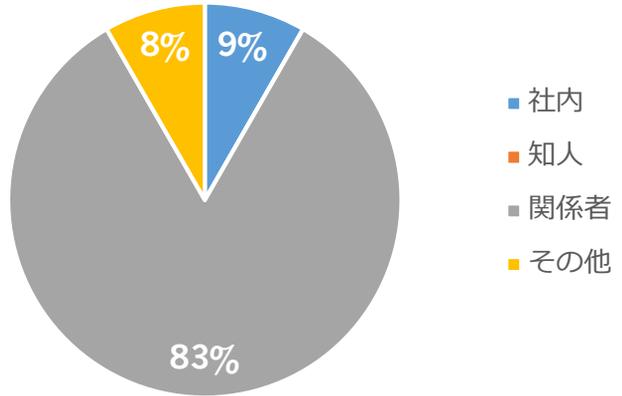
イベント認知経路
(スポーツキャリアサポートコンソーシアム)



●その他

その他の認知経路	数
社内	1
知人	0
関係者	10
その他	1
合計	12

イベント認知経路（その他）

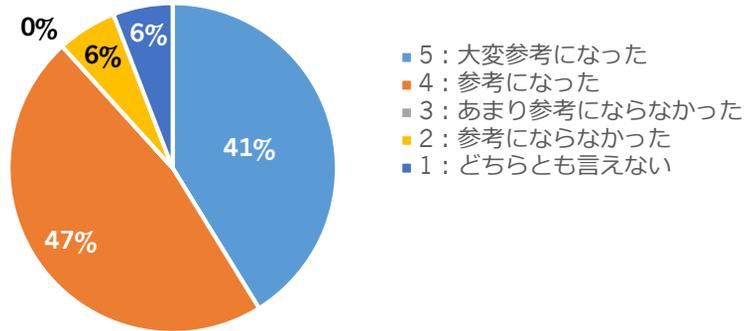


■ Q3、プログラム内容について、当てはまるものにチェックをつけてください。

(1) 基調講演 1「ビジネスマインドアスリートが今後の日本を変える」 鈴木啓太氏（Aub（株）代表取締役・元サッカー日本代表）は、参考になりましたか。

意見・感想	数
5：大変参考になった	7
4：参考になった	8
3：あまり参考にならなかった	0
2：参考にならなかった	1
1：どちらとも言えない	1
合計	17
(平均)	4.1

基調講演・鈴木啓太氏



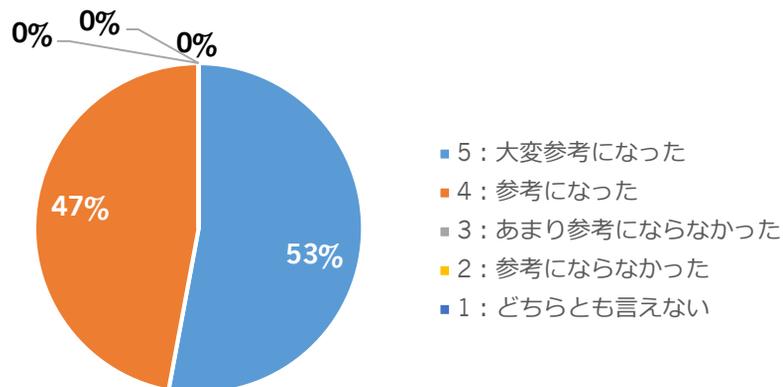
【感想・意見】

- ・ご本人のことはラジオで聞いて存じていましたが、多視点を持つ人物なのだを思うと同時にこの様な視点を横展開していく工夫が必要だなと感じました。
- ・実際のご自分の経験に基づいた話だったので納得できる。
- ・どのように自分をみていたかが興味深かった。
- ・アスリートマインドを持ったビジネスマンが日本を作っているという言葉、まさにその通りだと思いました。

(2) 基調講演 1「ビジネスマインドアスリートが今後の日本を変える」 田中研之輔氏（法政大学キャリアデザイン学部教授）は、参考になりましたか。

意見・感想	数
5：大変参考になった	9
4：参考になった	8
3：あまり参考にならなかった	0
2：参考にならなかった	0
1：どちらとも言えない	0
合計	17
(平均)	4.5

基調講演・田中研之輔氏



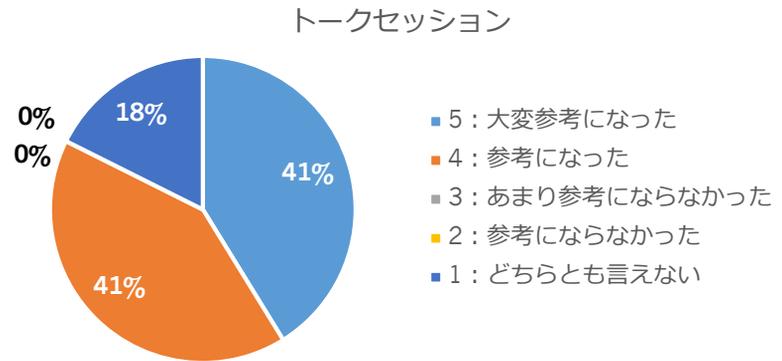
【感想・意見】

- ・キャリアの考え方を論理的に、体系的に説明してもらったことが勉強になる。"変化しないはリスク！"に共感できた。
- ・アスリートがスポーツ界の枠を超えて活躍するうえで、必要だなと感じていた事が、具体的目づ、実践をもって話されていて、とても勉強になりました。
- ・プロティアルキャリア初めて聞きました。ありがとうございました。
- ・プロティアンキャリア、初めて聞いた言葉であり、大変興味深かった。

キャリアの講義としては勉強になったが、本テーマの深掘りはモノ足りない

(3) トークセッション「今後求められるアスリート像とキャリア支援プログラムの方向性」は、参考になりましたか。

意見・感想	数
5：大変参考になった	7
4：参考になった	7
3：あまり参考にならなかった	0
2：参考にならなかった	0
1：どちらとも言えない	3
合計	17
(平均)	3.9



【感想・意見】

- ・仕込みのシナリオをフォローするだけのパネルディスカッションが多くありますが、今日のパネルセッションは経験のある人たちが熟と思いを投入した内容のあるセッションでとても良かったです。
- ・アスリートのコンピテンシーは面白かった。3名のアスリートの言葉はすばらしい。
- ・様々な角度でのセッションが興味深かった。
- ・登壇者の中に、団体競技だけではなく個人競技（例、陸上、水泳、アーチェリーなど）の方を入れたほうが良かった。個人競技のキャリアの積み上げ方は又違うと思う。
- ・サッカー競技者に興味がない。もっとマイナーな競技者の人生（キャリア）を聞きたい。
- ・プログラムの開発実施の予算が一番大事だと思う。

■ Q4、「ネクストスリートファンド（仮）」に、今後期待すること、要望等を自由にお書きください。

【ご意見・ご感想】

- ・時節に沿ったおつきあいのFundへの出資で終わらない恒常的な資金投入がなされる為の経済界への関与が必要と思います。そして、このFundで育った人材が企業の中核に入っていき未来を作っていきたいです。
- ・詳細理解はしていませんが、面白い仕組みと思います。
- ・スポーツSDGs自体の価値向上につながると考えられるので良いと思う。
- ・未来に向けての理想形とは思いますが途中で成果が出ないと多くの企業からのサポートを継続するのは難しいのではないかと思います。
- ・認定はぜひオープンに！決して"エンコ"にならないようにしてください！
- ・成功例、失敗例のモニタリング

■ Q5、スポーツ庁の「スポーツキャリアサポート戦略」事業全体に、今後期待すること、要望等をご自由にお書きください。

【ご意見・ご感想】

- ・eスポーツに取り組む人はどうなるのでしょうか？又、人生100年でのスポーツのあり方(観戦など)を含め示してもらえないか？"チームスポーツ以外も"…要望的に
- ・今日のカンファレンスは、戦略が実践に落とし込まれる具体的なヒントが多くあったと思います。実業に近い人材が戦略的立案に関与することが必須だと感じました。
- ・アスリートの声を（可能な限り）反映させてほしい。
- ・事業は継続しているが今まで単年度で成果を求められる年度ごとの公募なのでもう少し長期でとりくめるようだとありがたい。
- ・キャリアに関して「気軽に」発信相談できる場を設ける必要性が高い。
- ・プログラム開発、統一的なトランジション支援

■ Q6、その他、ご意見・ご感想等あればご自由にお書きください。

【ご意見・ご感想】

- ・アスリートの人材価値は、ビジネスマインドの対極にあるのではないのでしょうか？トップのスポーツマンがビジネスで成功した事例に共感がないためスポーツ"バカ"を発信する現在をかえてほしい（メディアか？）
- ・コロナウィルス対応など開催に向けて大変なことが多々あったと思いますが、とても良いセッションで開催していただいた御努力に敬意を表します。
- ・アスリートのチョイスにもう少し工夫がほしかった。チーム競技×個人競技×プロ×アマ（実業団）
- ・なぜ、資料が配布されないのでしょうか。

映像コンテンツ

(共通)

次世代アスリート・キャリア育成計画

Athlete Career Challenge



本事業によって、次世代アスリートのキャリア育成を、この国の社会全体で支える仕組みをつくり、スポーツ人材のチカラを、社会のチカラにすることで、持続可能な社会の実現を目指します。



1. 京谷和幸（北海道出身、元車いすバスケットボール日本代表／パラリンピック4大会出場）



2. 大山加奈（東京都出身、元バレーボール女子日本代表／アテネオリンピック出場）



3. 原田裕花（山口県出身、元バスケットボール女子日本代表／アトランタオリンピック7位入賞）



サイト制作

[ホーム](#) [選手](#)

次世代アスリート・キャリア育成大使

Japan 47 Stars

次世代アスリート・キャリア育成計画の事業コンテンツ。
 日本を代表する歴代アスリートの育成・現役時代から現在へ続く軌跡の中で、
 キャリアを支えた、人、地域、社会に焦点をあてて、
 アスリートキャリアを育成する社会の在り方を考える機会を作り出します。
 全国47都道府県から、各スポーツ分野で成功を取めたアスリート選を取材。
 アスリート経験者だから分かる、日本のスポーツを取り巻く環境や、
 次世代アスリート育成、キャリア形成についてインタビュー形式で語って頂きます。
 そして各アスリートの出身地域で地元の人達と交流するイベントを開催。
 地域代表の“アスリート大使”として、スポーツ立国に向けて情報発信をしていきます。

Athlete Career Challenge

本事業によって、次世代アスリートのキャリア育成を、
 この国の社会全体で支える仕組みをつくり、
 スポーツ人材のチカラを、社会のチカラにすることで、
 持続可能な社会の実現を目指します。

選手一覧

 <p>星 奈津美</p> <p>埼玉県</p>	 <p>瀧本 誠</p> <p>茨城県</p>	 <p>鈴木 啓太</p> <p>静岡県</p>
 <p>京谷 和幸</p> <p>北海道</p>	 <p>原田 裕花</p> <p>山口県</p>	 <p>大山 加奈</p> <p>東京都</p>

Athlete Career Challenge Kick Off カンファレンス



■各インタビューページ（スポーツ庁YOUTUBEリンク埋め込み） 2018年度アスリート大使



【プロフィール】

鈴木 啓太 すずき けいた

1981年7月8日生まれ、静岡県出身。2000年、東海大翔洋高校から浦和レッドダイヤモンズ入団。2002年にボランチとしてレギュラーに定着。献身的な守備でチームの主力となり、2006年のリーグ優勝、2007年のアジアチャンピオンズリーグ優勝に貢献する。06年には日本代表入りを果たし、国際Aマッチ28試合出場。06年、07年にJリーグベストイレブン選出。2015年に現役引退。現在は株式会社A u B（オーブ）の代表取締役を務める。

〈育成時代ーサッカーの街・清水の環境を全国に〉



僕はもともと色が白くて活発でもなく、とてもスポーツ選手になりそうな子どもではなかったそうです。それがサッカーをやり始めたら、負けると号泣し、翌朝から家の壁にボールを割って自主練習する子になったんです。清水市はサッカー熱が高く、周りは才能のある子ばかり。その中で自分はどうすれば上手になれるだろう、とそればかり考えていました。

悔しさからレベルアップを目指すことと、楽しいのは同じ意味を持っていました。これが僕の原点ですね。

日本代表クラスの選手がどんどん育ち、サッカーが常に話題になる街で育ったことは、すごく恵まれていたと思います。クラブでも、1人や2人の指導者で数十人の子どもの見るのは難しいところを、勤め帰りのおじさん達が次々に来てコーチしてくれて、地域の大人の、子どもたちを支援する愛情や、自分たちもサッカーを楽しむみたい熱意が自然と感じられる環境でした。

こうした育成環境が全国で、しかもサッカーだけでなくスポーツ界全体で広がれば素晴らしいと思います。

〈次世代へのメッセージ〉



高校生の時、2010年までの自分のロードマップを作りました。そこには1年ごとに目標があり、2010年には『日本代表のキャプテンになってワールドカップで優勝する』と書いてあるんです。結局、プロの選手になれた以外の大部分は叶わなかったものの、理想の未来に向かって突き進めたからこそ、幸せなサッカー人生だったと思い切れる今の自分がいると思っています。

大事なのは、将来どんな自分になりたいか。理想の自分を思い描き、胸に焼き付けてください。その像があなたを強く導いてくれるはずです。

〈2019年3月28日 静岡県静岡市にて、公開講座が行われました。〉



総括

<キックオフイベント：「Athlete Career Challenge」Kick Off カンファレンス>

■全体のプロジェクトに関して

- ・事業途中で、スポーツキャリアサポートコンソーシアム様協力、合同でのカンファレンス実施となりましたが、定期的に連携を図ることができ、お互い相乗効果のある結果となった。
- ・イベント開催直前から、感染症の社会問題が起り、規模縮小での開催、登壇者変更もありましたが、その中でも、各所ご協力いただき、問題なく進行できた。

■運営に関して

- ・受付を1Fと14Fで設けたことで、参加関係者、メディア受付は混乱なくスムーズに進行できた。尚、当日、3Fで他の会見があり何件か問い合わせがあったが問題は無かった。
- ・施設の入退場用セキュリティカードに枚数制限があることから、セキュリティカードのレベルが2段階あり、運用・運営では、調整が必要でしたが、参加者からクレーム等は出ず、問題なく運用できた。
- ・コロナウイルス感染症対策としてスタッフ並びに参加関係者に対して、案内サイン・口頭案内により、手指の消毒及びマスク着用など徹底することができた。感染症対策についてメディアからスタッフへ、当日の問い合わせ等は無かった。
- ・事前受付名簿からも車いす対応席を準備、当日も使用された。

■進行、各プログラムに関して

- ・全体の進行時間については、登壇者の方々も注意して時間をキープしていただいたことから、各プログラムともほぼ予定通りに進行することができた。登壇者との準備は、個々にご説明、当日の直前ミーティングで、しっかりと事前準備・共有できたことが大きい。
- ・基調講演からトークセッションに移る際に、ステージ転換および登壇者板付きの箇所が少しもたついた感があったため今後検討。
- ・テクニカルについては、ステージ用に演出照明が無いことからフォトセッション時の明かりが、少し暗かった様に思える。次回、この会場を使用する際は照明等を検討したい。

<映像コンテンツ制作>

■次世代アスリート・キャリア育成大使

- ・今年度も3名の方にご協力いただくことができ、昨年度にプラスして、魅力的なコンテンツとなった。タイトな中での撮影となったが、大使の皆様のご協力もあり、制作完了することができた。
- ・出張講座に関しては、各地元の自治体・団体様と調整していたが、社会情勢を踏まえて、中止することになった。

<サイト制作>

- ・計6名のアスリート・キャリア育成大使として、インタビュー記事・ムービー掲載で、ロールモデルコンテンツとして、今後、幅広く、教育プログラム等に、活用いただける内容になっている。